

University of Shizuoka Magazine

静岡県立大学広報誌

No.140

2020. February

はばたき

特集1
「国際交流センター」始動!!

特集2
本学で取得できる! 教育職員免許状

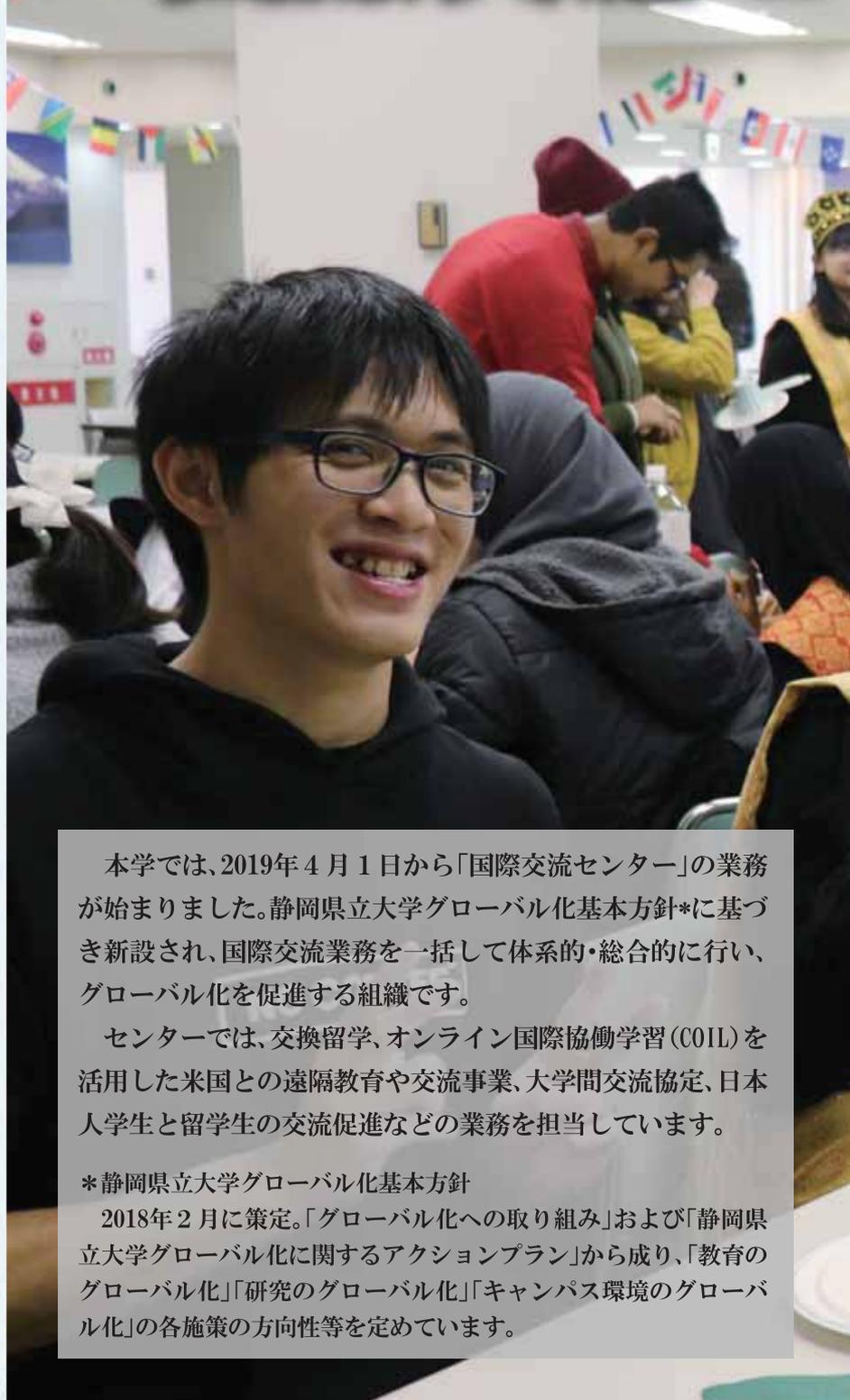
CONTENTS

- p01 「国際交流センター」始動
- p05 本学で取得できる！教育職員免許状
- p07 CAMPUS TOPICS
 - ・ 静岡県立大学SDGs宣言
 - ・ 看護学研究科 2020年4月に博士後期課程新設
 - ・ 静岡県立大学附属臨床研究施設開所式の開催
 - ・ データヘルス・リビングラボの設置
 - ・ 健康長寿フェローおよび地域みらいづくりフェローの認定
 - ・ 静岡新聞における「県立大務 まんがしずおかのDNA」の連載開始
 - ・ JENESYS2019・東南アジア高校生との交流会の開催
 - ・ 剣祭・橘花祭2019開催レポート
 - ・ 「THE世界大学ランキング2020」で本学がランクイン
 - ・ リレー・フォー・ライフ・ジャパン2019静岡
 - ・ 薬学部の学生が本学のプロモーションビデオを制作
 - ・ 奈倉ゼミ・中国研修における異文化交流体験記
 - ・ イタリアでの海外研修を通して
 - ・ メディメッセ2019の開催
 - ・ ラグビーワールドカップ観戦外国人観光客向けアンケートの実施
 - ・ 本学の英知で世界の宝、富士山を深く知る
 - ・ シンポジウム「米中対立と地政学リスク」の開催
 - ・ 「大学スマホ・サイトユーザビリティ調査2019-2020」で本学がトップ10入り
- p14 キャリア支援センターだより
- p15 研究室訪問
 - ・ 国際関係学部 高畑ゼミ 高畑幸教授
- p17 活躍する卒業生
 - ・ 看護学部／看護学研究科
- p18 産学民官連携
- p19 はばたき寄金からのお知らせ
- p20 図書館だより
 - ・ 大学資料コーナーの充実/私の一冊の本
- p21 奨学金授与式
- p22 INFORMATION
 - ・ 教員・学生の受賞
 - ・ 教員人事
 - ・ 学長表彰
 - ・ おおぞら基金寄附者ご芳名



「羽衣つたえ隊」による「羽衣」の劇(→p9)

「国際交流セ



本学では、2019年4月1日から「国際交流センター」の業務が始まりました。静岡県立大学グローバル化基本方針*に基づき新設され、国際交流業務を一括して体系的・総合的に行い、グローバル化を促進する組織です。

センターでは、交換留学、オンライン国際協働学習(COIL)を活用した米国との遠隔教育や交流事業、大学間交流協定、日本人学生と留学生の交流促進などの業務を担当しています。

*静岡県立大学グローバル化基本方針

2018年2月に策定。「グローバル化への取り組み」および「静岡県立大学グローバル化に関するアクションプラン」から成り、「教育のグローバル化」「研究のグローバル化」「キャンパス環境のグローバル化」の各施策の方向性等を定めています。



ンター」始動!!



奥村昭博

国際交流センター長挨拶

本年度から新たに国際交流センターが発足しました。これまで組織内に分散していた国際交流活動を統一的行う組織で、これまでの交流大学との円滑な関係促進に加えて、更なる外国人留学生受け入れの拡大と関係海外大学数の増加に取り組みます。とりわけ重要な機能は本学の国際化に関する企画で、本学学生の海外留学のみならず外国人学生の受け入れ環境の整備をさらに図ることです。大学の国際化は戦略的に重要な課題であり、それを力強く推進するのが当組織のミッションです。



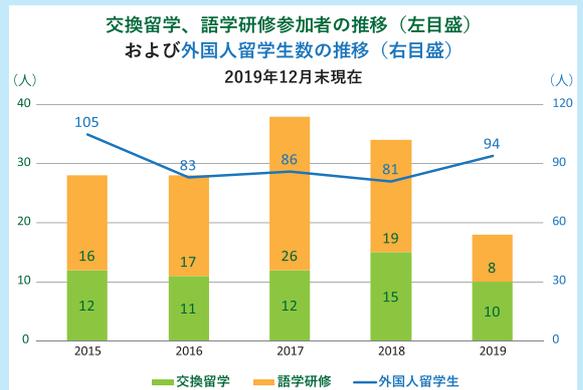
「国際交流センター」の取り組み

大学間交流の促進

本学では、グローバルに活躍する人材の育成を目指して、世界各国の大学や研究機関と協定を結び、共同研究や学術交流、交換留学生の派遣・受け入れ、短期語学研修派遣を積極的に行っています。2019年12月末時点で、交換留学・派遣留学先は8か国8大学、短期語学研修先は3か国5大学(他にフランス政府留学局が斡旋する研修先あり)となっています。

毎年11月には、交換留学や語学研修に興味を持つ本学学生に留学先の大学について案内し、留学についての悩みや疑問を相談する機会となるよう、「交換留学フェア」を開催しています。各大学に留学した学生が体験談を語るほか、交換留学大学・語学研修先ごとに分かれ、留学した学生へ質問・相談をする時間も設けられています。

なお、国際交流センターは、随時、学生から海外留学に関する相談を受け付けています。



【交換留学・派遣留学提携校】 募集案内、申込、選考結果及び留学期間は目安

大学名	募集案内	申込	選考結果	留学期間
① モスクワ国立国際関係大学【ロシア】	11月中旬	1月下旬	2月上旬	8月～6か月以内
② フィリピン大学【フィリピン】	11月中旬	1月下旬	2月上旬	8月～3月までの6か月以内
③ リール政治学院【フランス】	11月中旬	1月下旬	2月上旬	9月～1学期間又は2学期間
④ ボアジチ大学【トルコ】	11月中旬	1月下旬	2月上旬	8月下旬～1学期間又は2学期間
⑤ プレーメン州立経済工科大学【ドイツ】	10月下旬	11月下旬	12月上旬	2月末～1学期間又は2学期間
⑥ バリャドリッド大学【スペイン】	11月中旬	1月下旬	2月上旬	9月～1学期間又は2月～1学期間
⑦ 延世大学【韓国】	7月中旬	10月中旬	10月下旬	3月～1学期間又は2学期間
⑧ オハイオ州立大学【アメリカ】	11月中旬	1月下旬	2月上旬	9月～2学期間

交換留学・派遣留学・語学研修先マップ



【語学研修提携校】 募集案内、申込及び研修期間は目安

大学名	募集案内	申込	研修期間
⑨ 浙江大学【中国】	11月中旬	12月中旬	3月上旬～下旬の3週間
⑩ 東華大学【中国】	4月下旬	5月中旬	8月上旬～下旬の3週間
⑪ カリフォルニア州立大学 サクラメント校【アメリカ】	4月下旬	5月中旬	8月中旬～10月上旬の8週間
⑫ カリフォルニア大学 デービス校【アメリカ】	4月下旬	5月中旬	8月上旬～9月上旬の4週間
⑬ サン＝ティエンヌ・ジャン＝モネ大学 又は グルノーブル・アルプ大学附属の語学センター【フランス】	2月下旬 9月下旬	5月中旬 11月上旬	8月の4週間 2月下旬～3月下旬の4週間
⑭ ビクトリア大学【カナダ】	10月上旬	11月中旬	3月上旬～下旬の4週間

交換留学を終えて

国際関係学部 国際言語文化学科 三浦雄太郎さん
留学先: バリャドリッド大学(スペイン)
留学期間: 2018年9月～2019年2月



留学を決めたのは、大学1年から学んでいるスペイン語の上達に加えて、日本と全く文化の異なる国に長期で行き、その文化に直に触れてみたかったからです。半年間という短い期間でしたが、スペイン語だけでなく、世界各国からの留学生との共同生活や多くの出会いを通じて、1人の人間としての成長も実感した留学でした。

らの留学生との共同生活や多くの出会いを通じて、1人の人間としての成長も実感した留学でした。

国際関係学部 国際関係学科 服部莉奈さん
留学先: ボアジチ大学(トルコ)
留学期間: 2018年9月～2019年6月



トルコ留学は、私のいくつかの価値観を変えました。学業では、学生のレベルの高さに圧倒されつつ、継続した努力がものをいうと理解できました。また、国際政治で扱う宗教問題も、メディアが描くイスラム教の利己主義なイメージとは異なり、他者思いで広い心が彼らの根底にあると肌で感じました。百聞は一見に如かず、です。

語学研修を終えて

国際関係学部 国際関係学科 朝井涼加さん
研修先: カリフォルニア州立大学
サクラメント校(アメリカ)
研修期間: 2019年8月～10月



語学研修を通してアメリカの文化や言語だけでなく、アメリカ以外の文化や価値観、宗教を学ぶことができました。研修先の友人はとても教養があり、勉強に対するモチベーションも高く、共に学びを深めることができました。また、ホストファミリーとは多くの会話をし、時には外出し、一緒に時間を過ごすことで彼らの価値観を学ぶことができ、多くの面で成長できました。

大学の世界展開力強化事業 (COIL)

本学では、2018年度から、上智大学およびお茶の水女子大学と共同で、オンライン教育(Collaborative Online International Learning : COIL)を利用した遠隔教育および交流事業を軸とした、日米2国間の大学間連携を図るプロジェクトに取り組んでいます。

2019年1月には、看護学部専門科目「国際看護論」において、本学で初めてCOILを試験導入。ポートランド大学看護学部とオンラインで接続し、講義及び意見交換を実施しました。同学部では「国際保健・災害看護論」などの専門科目でもCOILを活用しているほか、国際関係学部、大学院薬食生命科学総合学府や全学共通科目でも、米国の大学と結んで講義を行っています。

授業科目へのCOIL導入例 (2019年12月末まで)

年月	学部・大学院等	科目名	オンライン接続先
2019年1月	看護学部	国際看護論	ポートランド大学
2019年6月	大学院 薬食生命科学総合学府	生体情報分子解析学特論 先端医療薬学特論	カリフォルニア大学 デービス校
2019年6月	全学共通	Japanology	カリフォルニア大学 デービス校
2019年7月	看護学部	国際保健・災害看護論	ポートランド大学
2019年10～11月	国際関係学部	演習(日本語学ゼミ)	ノースカロライナ大学 シャーロット校
2019年10～11月	国際関係学部	日本学研究B	ゴンザガ大学
2019年11月	看護学部	最新看護の動向	ポートランド大学 他



日本人学生と留学生の交流促進

本学には、2019年12月末時点で、中国、インドネシア、ベトナムをはじめとして15か国100名ほどの留学生が学んでいます。日本人学生と留学生をペアにして、留学生に日本語を教えたり生活相談にのったりする「カンパセーションパートナー」制度や、留学生、日本人学生、教職員、留学生支援団体等が親睦を深める「留学生交流会」等、日本人学生と留学生の交流が進むきっかけづくりを行っています。

また、本学には、日本人学生と留学生との交流・相互理解を目的に活動しているクラブ「IFC」(International Friendship Club: 国際学友会)があります。新入生歓迎会、バスハイク、大学祭やクリスマス会などが企画され、学生が主体となった国際交流も進んでいます。

■主なイベント(予定)

- 4月 新入留学生ガイダンス/新入生歓迎会/新入生歓迎バスハイク
- 5月 IFC歓迎会/IFCバス旅行/スプリングフェスティバル/スポーツフェスティバル
- 9月 IFC主催国際交流旅行
- 10月 スポーツフェスティバル/剣祭(大学祭)
- 12月 留学生交流会/留学生クリスマス会
- 1月 学生との意見交換会

留学生の声

薬学部 薬学科
サハイカン
沙 沛瀚さん
(中国出身)



静岡県立大学は長い歴史をもち、経験がある先生が多いです。また、地域との連携も深いです。勉強したことが実際に活用できると感じます。それに、大学で研究と実務についてバランス良く学ぶことができます。周りの日本人の友達が優しくて、いつも遊んだり、勉強したりしています。充実した生活が送れていると思います。



2019年1月に看護学部で行われたCOILの授業風景

静岡スタディツアー



静岡の特色ある企業への訪問

大学の世界展開力強化事業のフィールドスタディとして、2019年8月5日からの3日間、上智大学に留学中の米国人留学生4人と本学の学生4人が県内の企業を訪問するスタディツアーを開催しました。ツアーは主に英語で行われ、日米両国の学生たちは、農業や製造業など多様な産業を有する静岡県の特色ある企業を訪問し、静岡の産業について学ぶとともに、学生間の交流を深めました。ツアーに先立ち、静岡県国際経済振興会の協力のもと、オンラインで英語による事前学習を行いました。ツアーに参加した本学学生からは、「留学生との交流はもちろん、世界で活躍する県内企業を知る貴重な機会となりました」等の感想が聞かれました。2020年2月の春期ツアーでは、「静岡県のものづくり」を大きなテーマとして実施し、今後も、毎年夏と春にツアーを実施する予定です。

本学で取得できる！

教育職員免許状

学生の皆さんが今後の職業を考える際の選択肢の一つとして教員があります。教員は、人間の成長に携われる魅力的な仕事の一つではありますが、教員として働くためには免許状を取得することが必要です。本学でもその免許状を取得するための教職課程が開設されていますが、2016年11月の教育職員免許法改正などに合わせ、全ての教職課程で法令改正に対応した認定を受け直す必要がありました。その認定を受けた新たな教職課程が2019年4月1日からスタートしています。そこで、本号では本学で取得できる教育職員免許状を紹介します。

※2019年度より前に入学した学生はこちらで紹介しているものと単位数が異なりますのでご注意ください。

本学の教員養成の理念

本学では、大学の基本理念に謳われている「たゆみなく発展する大学」、「卓越した教育と高い学術性を備えた研究の推進」、「地域社会と協働する広く県民に開かれた大学」の精神に基づいて、次の資質を備えた教師の育成を教職課程における教員養成の共通理念とします。

1. 自己教育力を備えた自律的教師の育成

教育を取り巻く社会的変化に柔軟に対応できるよう、たゆみなく自己を高めていく能力と意欲をもった自律的教師の育成を目指します。

2. 高い専門的知識と実践的指導力を備えた教師の育成

教育現場で教師の職責を担うために必要とされる専門的知識と実践的指導力を備え、教育者としての使命をもった教師の育成を目指します。

3. 社会に開かれた広い視野を備えた教師の育成

地域社会から国際社会まで、広く社会に開かれた視野を備え、地域社会との協働など社会に積極的に貢献できる知識と意欲をもった教師の育成を目指します。

教員になるまで (幼稚園教諭二種免許状の取得課程は異なります。)

1-3年次

1~3年次は所定の科目の単位をしっかりと修得します。所定科目が1年次に開設されている場合があるので、履修には注意が必要です。

- ・経営情報学科はメジャー制にあわせて、2年次から本格的に教職課程に取り組みます。
- ・英語の教員免許の取得を目指す場合、留学経験は英語力を高めるだけでなく、海外の文化を生徒に伝えることもできるようになるため、機会があれば経験しておくといでしょう。



4年次

4年次には教育実習を行う必要があります。

公立学校の教員採用試験は県や市によって異なりますが、おおよ以下に示した時期が一般的です。教員免許状取得見込みの段階で採用試験が実施され、内定が得られます。

教員採用試験(参考:公立学校)

- 3-4月 募集要項の配布開始
- 5-6月 出願受付
- 7月 第1次試験
- 8月 第2次試験
- 10月 合格発表、採用内定



取得後

教員採用試験に合格し、採用されることで教員となることができます。

教育職員免許状には10年間の有効期間があり、有効期間を更新する場合、2年間で30時間以上の免許状更新講習の受講・修了が必要となります。



教育職員免許状取得

教育職員免許状の取得の状況

		2016年度	2017年度	2018年度
高等学校 一種免許状	国語	3	0	2
	英語	12	10	14
	数学	1	5	5
	情報	2	6	2
	商業	1	2	2
高等学校 専修免許状	英語	0	1	1
	商業	0	1	0
幼稚園教諭二種免許状		(開設年)	30	29
合計		19	55	55

※重複取得者あり

先輩の声

国際関係学部
国際言語文化学科
4年 山本大希さん

私が教員免許を取得しようと思ったきっかけは、高校生の時に英語を教えてくれた恩師に憧れたからです。しかし、教員免許取得において、通常の単位とは別に30単位以上を取らなければならないため、学期末が大変でした。4年次の教育実習では、授業組み立ての難しさを学ぶとともに、生徒と信頼関係を築くことで授業の進行がしやすくなることを実感

しました。これから教員を志す皆さんには、強い覚悟を持って臨んでもらいたいです。





2019年度以降の入学より取得可能 高等学校教諭一種免許状〈理科〉

2019年度以降に「食品生命科学科」と「環境生命科学科」に入学した学生から、高等学校での理科の教諭一種免許状の取得が可能となりました。本学では所定の68単位※の修得を必要としています。

本学では、生命科学・食品科学・環境科学における高度な教養と知識を身につけ、地域社会の課題からグローバルな問題までの解決に貢献

ここで取得できます！

食品栄養科学部

- ・食品生命科学科
- ・環境生命科学科

できる理科教員を育成するため、講義や実験、フィールドワークなどを通して、専門的知識や問題解決能力とコミュニケーション能力を培います。また、教科教育を通して豊かな人間性と実践力が身につくよう取り組むとともに、具体的な授業場面を想定した授業設計を行うことができる能力の育成にも努めています。

高等学校教諭一種免許状〈英語または国語〉

高等学校での英語または国語のどちらかの教諭一種免許状の取得が可能です。本学ではどちらも所定の70単位※の修得を必要としています。国際言語文化学科で取得を可能としていますが、国際関係学科も所定科目の単位を修得することで取得が可能です。

大学院では、英語・国語の一種免許状を取得しており、かつ所定の単位を修得することで、高等学校教諭専修免許状の取得も可能です。

ここで取得できます！

国際関係学部

- ・国際言語文化学科
- (・国際関係学科)

・英語：自分の意見や考えをグローバルに発信できる生徒の育成に貢献できる教員を育成するため、課題研究や実践調査によって英語の習得過程や学習方略について理解を深めるよう取り組んでいます。
・国語：日本の言語や文化の理解に基づく確かな思考力と豊かな表現力を身に付けた教員を育成するため、評論文、小説、古典、詩歌などの教材研究や模擬授業を通じて実践的な指導力を習得できるよう取り組んでいます。

高等学校教諭一種免許状〈数学・情報・商業〉

高等学校での数学・情報・商業の3教科の教諭一種免許状の取得が可能です。1教科のみ、2教科、もしくは3教科の取得も可能です。本学では1教科につき、所定の70単位※の修得を必要としています。複数の教科を取得する場合は、「教育の基礎的理解に関する科目」や「教育実践に関する科目」などの34単位が共通で利用できます。

数学・情報・商業の3つの教諭一種免許状が一度に取得可能である学科は全国で本学しかありません。ただし、全ての免許状を取得するには必要とする単位数が多いため、1年次から計画的に授業を組み立てる必要があります。

大学院では、情報・商業の一種免許状を取得しており、かつ所定の

ここで取得できます！

経営情報学部

- ・経営情報学科

単位を修得することで、高等学校教諭専修免許状の取得も可能です。
・数学：確かな数学的能力に留まらず、統計学、応用数理、ICT活用などを含む幅広い数理的能力をもつ教員を育成するため、多様な分野にわたる講義・演習などを通じて高度な知識と主体的に学ぶ力を養成しています。
・情報：高度情報化社会における情報技術の進展に対応できる教員を育成するため、情報技術はもちろん、主体的に考え、学ぶ力の習得を目指した指導に取り組んでいます。
・商業：変化の激しい現代の経営に対応できる専門性と創造性を持つ教員を育成するため、経営・マーケティング・会計・情報分野における専門知識、問題解決能力、指導力の向上を図っています。

栄養教諭一種免許状

栄養教諭は小中学校に通う学童・生徒の学校における食育の推進に中核的な役割を担う教諭です。取得には「管理栄養士免許」、または、「管理栄養士養成課程修了」および「栄養士免許」を必要とし、かつ所定の36単位※の修得を必要としています。なお、本学の栄養教諭免許取得に必要な「管理栄養士」国家試験の合格率は3年連続で100%となっています。

ここで取得できます！

食品栄養科学部

- ・栄養生命科学科

本学では、健康と長寿を支える栄養科学の専門的な知識を身につけ、学童・生徒の食育に真摯に取り組む教員を育成するため、食に関する指導における基礎的知識、学童・生徒を取り巻く栄養に係る課題を学習し、個別指導等、学校現場で必要となる知識・スキルを身につけ、実践的指導力を高めるための取り組みを行っています。

幼稚園教諭二種免許状

幼稚園の教諭及び認定こども園の保育教諭(保育教諭は保育士資格も必要)に必要な幼稚園教諭二種免許状の取得が可能です。本学に2年以上在籍し、所定の60単位※の修得を必要としています。

ここで取得できます！

短期大学部

- ・こども学科(2016年度開設)

自ら課題を考察しようとする課題探求能力を備えることで、学び続けることのできる教員を育成するため、模擬授業やフィールドワークを実施し、実践的な学びを深める取り組みを行っています。



国際関係学部
国際言語文化学科
細川光洋教授

指導教員から (担当教科：国語)

アクティブ・ラーニングの導入やICTの活用など、教育の現場はいま大きく変わろうとしています。しかし、「未来を創る人材を育てる」という教育の本質は変わりません。生徒一人一人の未来に関わる仕事であること、そこに教育に携わる者の喜びと責任があります。教員を志す皆さんには、指導法を習得するだけでなく、生徒たちに「伝えたいもの」をぜひ持ってほしい。「伝えたいもの」を持って、教育実習にも臨んでほしいと思います。



静岡県立大学SDGs宣言

2015年9月の国連サミットで採択された、持続可能な世界を実現するための2030年までの国際目標(SDGs)について、本学(大学・短期大学部)の取り組みを推進していくため、2019年11月28日に『静岡県立大学SDGs宣言』を行いました。SDGsが誓う「誰一人取り残さない」社会の実現に向けて、人材の育成を通じ、また、知の探求を通じて、「地域をつくる」「地域をむすぶ」「未来へつなぐ」ことを使命として、全学的な取り組みを進めていきます。



看護学研究科 2020年4月に博士後期課程新設

2020年4月から大学院看護学研究科では博士後期課程を新設します。教育力と研究力を発揮して新たな看護学の知識体系の構築・開発に取り組み、専門的知識

と指導力に基づいた質の高い教育・研究を実践できる看護学研究者・教育者の育成、また、地域包括医療を遂行するための有効な看護ケアを開発し、病院と地

域との協働・連携を円滑に運営できる看護指導者の育成を目指します。募集人員は3名で、長期履修制度、土日・夜間開講もあり、働きながら学ぶことが可能です。

静岡県立大学附属臨床研究施設開所式の開催

本学附属臨床研究施設の開所式を、2019年10月30日に草薙キャンパスで行いました。本施設は、ヒトを対象とした臨床研究および教育に寄与することを目的に看護学部棟2階に設置されたもので、開所式には、本学教職員をはじめ、県庁関係者(教育長、文化・観光部長代理他)、医療関係者、企業関係者(ウェルビーイング産業研究開発プラットフォーム会員)ら約30人に参加いただきました。

開所式では、はじめに尾池和夫理事長

が関係者へお礼を述べたあと、「本学を県民だけでなく、日本国民が世界に誇り得る大学とするように最善をつくしていきたい」と挨拶しました。続いて、鬼頭宏学長は「臨床研究を学内で実施できることは大きな意義がある。卓越した教育と高い学術研究を行うという本学の理念に沿ったものであり、またこのような大学の目標に一歩近づけるものと期待している」と述べました。

また、静岡市保健所長をはじめとする

来賓とともにいったテープカットの後は、本施設の内覧を行い、森本達也・薬学部教授(施設管理者)から今後の活用などについての具体的な説明がありました。

本施設の開所により、これまで学外で行っていた採血等を伴うヒトを対象とした臨床研究を学内で行うことができるようになったことから、いままで以上に受託研究等が実施されることが期待されます。



開所式でのテープカットの様子



施設の看板を持つ尾池和夫理事長(左)、鬼頭宏学長(中央)、木苗直秀教育長(右)

データヘルス・リビングラボの設置

本学は、これまでも健康寿命の延伸に向けて、静岡県の食材を活用した健康志向食品の開発や「健康な食事」の普及啓発を支援してきましたが、このたび、より一層の健康長寿社会を推進するために、県民が主体的な参加者として、健康や食事等の生活習慣を見直す取り組みを支援する「データヘルス・リビングラボ」を設置することになりました。本ラボでは、静岡市地域福祉共生センター(みなくる)など

を拠点に、ウェアラブル端末などを用いて住民の健康に関するデータを集め、個人に対応した食事や健康についてアドバイスする仕組みをつくるほか、企業や研究機関が実施する各種の実証試験への参加を呼びかける予定です。ヨーロッパや長野県松本市などの先進的な取り組みを参考に、健康な食事のレシピ提供や管理栄養士、保健師等による食事・健康相談を実施していきます。

本ラボの設置に向けては、2019年10月31日に静岡県の健康食産業振興事業費補助金の交付を受けることが決定しました。同補助額4,300万円のうち、本ラボの設置運営に約1,300万円が割り当てられます。また、静岡県が公募した健康食ビジネスモデル創出業務委託事業においても、本学が提案した本ラボに関連した2件の事業が採択されており、本ラボを活用する様々な研究が既に始まっています。

健康長寿フェローおよび地域みらいづくりフェローの認定

本学は、人材の地域内循環を促すことなどを目的に、学生の共有に貢献していただいた社会人を、健康長寿フェロー、地域みらいづくりフェローとして認定する制度を設け、2019年7月25日に初めて認定証授与式を行いました。

健康長寿フェローとしては、本学における健康長寿に係る講義や演習等の共有活動に従事された医師や看護師など33名の方が認定され、地域みらいづくりフェローとしては、地域に係る講義や演習等の共有活動に従事された団体役員や俳優など8名の方が認定されました。

授与式には、21名の方が出席され、鬼頭宏学長から直接認定証を授与されました。

鬼頭学長は、各フェローの方々に感謝の意を伝えるとともに、「大学を核とした地域づくりを進めていくので、引き続きご支援いただきたい」と依頼の言葉を述べました。

また、地域みらいづくりフェローに認定された静岡ムスリム協会事務局長のアサディみわさんからは、「このような立派な社会的認知を受けたことで、これまでの努力や取り組みが報われたと思える感謝の時間だった」との声をいただきました。

本学では、地域とともにチーム活動を牽引するコミュニティ・ワーク力を備えた人

材の育成を進めるために、知識と技能を備えた学生をコミュニティフェローとして認定する制度を先に設けており、既に300名を超す学生を認定しています。卒業後、それぞれの地域で次世代の育成を担うといった共有サイクルを回す仕組みができるよう取り組んでいます。



フェロー認定証授与式後の集合写真

静岡新聞における「県立大発 まんが しずおかのDNA」の連載開始

2019年11月4日、尾池和夫理事長が執筆した第1回「静岡の大地」を皮切りに、静岡新聞の毎週月曜日(休刊日除く)朝刊「科学」面にて、「県立大発まんが しずおかのDNA」の連載が始まりました。今回の連載は読者の興味をかき立てるため、導入

部として漫画を活用しているのが特徴です。本学関係者が文理の枠を超え、静岡のDNAを「文化・風土」「食資源」「健康・福祉・防災」「産業・観光」「グローバル化」のテーマにおいて、科学的根拠に基づいたアカデミックな内容で追求しています。

30回の連載を予定しており、これまでの連載分については静岡新聞社WEBサイト「アットエス」にも掲載されていますので、ぜひご覧ください。

アットエス https://www.at-s.com/news/featured/culture_life/kenritsudai_column/

JENESYS2019・東南アジア高校生との交流会の開催

9月18日、ラグビーワールドカップの開催を受け、対日理解促進交流プログラム・JENESYS*2019「青少年スポーツ交流(ラグビー)」に参加の東南アジア11か国の高校生132名と、本学の学生・教職員約40名が「地域における伝承の役割」をテーマとした交流会を行いました。

交流会では本学の学生有志で活動する「羽衣つたえ隊」が静岡市清水区三保が舞台の能「羽衣」にちなんだ劇を、日本語の美しさを感じていただくため、あえて通訳なしで披露しました。観劇後にフィリピンの学生からは「波の音と舞(踊り)が印象的で、素晴らしかった」との感想が聞かれ、天女役を演じた国際関係学部に加藤花蓮さんは「皆さんの前で演じることができて嬉しい。ご協力いただいた全ての方に感謝したい」と述べました。

また、国ごとに行われたグループワー

クでは、各国に伝承されている物語について話し合い、交流を深めました。「羽衣」の舞に触発されて、自国のダンスを披露したグループもありました。

寺尾康国際関係学部長はラグビーと友情とをかけて「一度手放してしまうとなかなか取り戻すのは難しい。この交流で友情が芽生え、発展することを願う」と声をかけました。

※JENESYSとは、日本とアジア大洋州の各国・地域との間で、対外発信力を有し将来を担う人材を招へい・派遣し、政治、経済、社会、文化、歴史、外交政策等に関する対日理解を促進することを目的とした交流プログラムです。



「羽衣つたえ隊」による「羽衣」の劇



JENESYS2019で来学された学生の皆さん

剣祭・橘花祭2019開催レポート

● 剣祭

2019年10月26日から27日にかけて、草薙キャンパスでは33回目の『剣祭(つるぎさい)』が開催されました。今年のテーマは「SunSun～そこのあなたも笑いな祭～」です。クラブ、サークルによる模擬店やパフォーマンス、展示や研究室開放などが行われました。学生たちがつくり上げる企画に、学生のご親族や地域の方々にもご参加いただき、テーマ通りの笑顔あふれる剣祭となりました。

● 橘花祭

2019年11月9日から10日にかけて短期大学の第23回『橘花祭(たちばなさい)』が小鹿キャンパスで開催されました。サークルによる発表や学科展示、ビンゴ大会といった企画だけでなく、入試相談会、ホームカミングデイ、リカレント教育講座、後援会講話会など多くの催しを実施しました。受験生や保護者、卒業生などたくさんの方々が来場され、賑やかな雰囲気の中で楽しい時間を過ごすことができました。来年度も多くの皆さんの御来場をお待ちしております。



剣祭：オープニングセレモニー



橘花祭：模擬店の様子

「THE世界大学ランキング2020」で本学がランクイン

英国の世界大学ランキング最大手Times Higher Education (THE)が2019年9月に発表した「THE世界大学ランキング2020」において、本学は昨年に続いて、総合ランキングで1001+にランクインしました。

THE世界大学ランキングは、世界の大学を研究力にウエイトを置いて評価するもので、その指標は「教育(30%)」、「研究(30%)」、「被引用論文(30%)」、「国際性(7.5%)」、「産業界からの収入(2.5%)」の5つです。

ランクインした大学の数は、世界92か国の約1,400大学です。日本からは本学を含む110大学がランクインしました。また、公立大学は本学を含め11大学がランクインし、東海4県の大学は本学を含め13大学がランクインしました。

■ **リレー・フォー・ライフ・ジャパン2019静岡 ～つなごう命～愛と笑顔で**

2019年9月21日・22日の2日間に渡り、がん患者・家族支援チャリティイベント「リレー・フォー・ライフ・ジャパン2019静岡」が本学との共催のもとに行われました。今年の大会は、雨模様の予報となり、講堂、学生ホールおよび講堂前のコミュニティプラザでの開催となりました。今年で7回目となる大会には、32チーム（本学関係3チーム）が参加し、本学学生、教職員、サバイバー（がん患者）を含む総勢1,500人が集いました。

開会式は大講堂で行われ、有度幼稚園児が元気いっぱいの踊りと歌を披露しました。その後、鬼頭宏学長、日本対がん協会の垣添忠生会長及び合田敏尚副学長による開会の挨拶、本学学生と常葉大学生による開会宣誓があり、参加者の大きな拍手の中、サバイバーラップがスタートしました。参加チームの紹介後は、コミュニティプラザでリレーウォークが開始されました。

各チームは、学生ホール内のスペース

で趣向を凝らしたゲームや募金活動を行ったほか、サバイバーサロンも開かれました。小講堂では、初めての試みとしてチャリティ映画「がんになる前に知っておくこと」が上映され、参加者が一様に心を打たれる様子が見られました。夕方には多くの思いが綴られた1,500を超えるルミナリエに燈が灯り、会場のモニュメント下には「HOPE」の文字がくっきり映し出されました。大講堂ではルミナリエセレモニーが行われ、天国に旅立った仲間を偲ぶとともにがんに負けない社会を築く大切さを参加

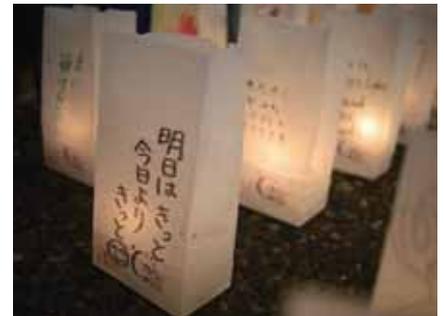
者一同が共有しました。静かになった深夜も、学生ホール内で参加者同士が語り合い、リレーをつなぐ人々がゆっくりと歩き続けました。

22日の朝にはヨガで緊張した体をほぐした後、音楽グループ「山作戦」によるリレーフォーライブを楽しみました。その後、「TSUBO-KEN」さんによるサックス演奏の中、一斉ウォークが実施され、無事2日間の日程を終了しました。

この2日間の様子は経営情報学部の渡邊貴之教授等の協力により、県大テレビでも紹介されました。



モニュメント下で灯り続けるルミナリエ



ルミナリエに思いを込めて

**薬学部の学生が本学の
プロモーションビデオを制作**

薬学部3年生の宮国大介さんが、本学のプロモーションビデオを制作しました。宮国さんは動画制作の経緯について「姉に贈るウェディングムービーの作成をきっかけに、人々を楽しませ感動させる動画制作に魅力を感じたのが始まりです。動画を活かした将来を考えていたため、次につながるきっかけづくりの一つとして本動画制作に取り組みました。また、他の学生とは違うことをしたいと思った点も理由の一つです」と話してくれました。

プロモーションビデオはYouTubeサイトをご覧ください。



YouTube https://www.youtube.com/watch?v=B7dG3k2l_dM



■ 奈倉ゼミ・中国研修における異文化交流体験記

国際関係学部奈倉京子准教授ゼミの3年生が、中国甘肅省蘭州市で6日間の研修を行いました。個人調査や甘肅政法大学学生との中国語による討論会など、現地での学びの様子を蛸子一真さんと、小川美月さんに寄せてもらいました。



個人調査では、現地に興味を持ったものを写真に収め考察する「写真観察法」を用い、蘭州大学の学生と共に市内を調査しました。調査を通して、文献からは得ることのできない中国の生活習慣や文化の違いを知ることができました。



KJ法を用いたディスカッションの様子

討論会では、現地の大学生と「幸せとは何か」というテーマのもと、グループディスカッションを行いました。情報整理の一手法であるKJ法を用いて導き出したキーワードから、幸せの価値観の類似と相違が明らかになりました。類似点として、中国人と日本人はともに仕事での成功などによる社会的幸せ、結婚などによる家庭的幸せを重視する傾向がありました。相違点としては、中国には「国

泰民安」という国家の示す幸せがあり、日本にはない幸せの価値観があげられます。グループごと異なる視点からの興味深い考察を、日本語・中国語で発表し、討論会は成功を収めました。

現地の先生方や学生の皆さんにご協力いただきながら調査する中で、日本と異なる文化や宗教観を学び、実りある実習となりました。



討論会後の集合写真

■ イタリアでの海外研修を通して

経営情報学部上野雄史准教授が担当する経営情報総合Bの集中講義では、イタリアのフォルリとベネチアで合計6日間の研修を行いました。現地での学びの様子を経営情報学部1年の榊原菜々さんに寄せてもらいました。



私が海外研修に行くことを決めた理由は海外に興味があり、普段とは異なる環境で過ごすことにより、何か発見があるかもしれないと思ったからです。今回、イタリアでの研修を通してまず気づいた点は、自分の会計学における知識の少なさでした。そして学ぼうちにできる

だけ負債を少なくし、いかに利益を多く得るかということの重要性を認識することができました。

レゴブロックを使ったゲームでは、各グループで車を作り、その製品に要したコスト、デザイン性、売上、販売個数、広告費など総合的に考えて戦略を練る必要があります。私の参加したグループは、全員が意見をはっきり言う方たちだったため、様々な視点からの意見が飛び交いました。会計だけでなく良い製品を作るためには、何度も戦略を練ることを感じました。今回得たことは、今後の授

業で活かしていきたいと思います。

他にも、コミュニケーションの重要性を実感しました。私は、英語がそこまで得意ではないので、正確に聞き取って受け答えできるかがとても不安でしたが、何とか理解し、単語を並べて会話することができました。英語力はもちろん重要ですが、聞き取ろう・答えよう・話しかけようと心がける姿勢が重要であると感じました。その結果、皆さんが、すごくフレンドリーに話しかけてくれました。この経験を通じて、もっと英語を上達させたいという気持ちが強まりました。また、私は元々、不安を抱えつつも留学したいと考えていたため、今回の体験を通じて得られたものは大きく、充実した研修となりました。



講義終了後の集合写真



レゴブロックを使った会計学のゲーム

■ メディメッセージ2019の開催

2019年9月28日から29日にかけて、ツインメッセ静岡においてメディメッセージ2019が開催され、両日合わせて約9,000名の来場がありました。

今回で10回目となる同イベントは、「みんなの力を医療の力に。」をメインテーマに、子どもから大人まで、一般の方を対象に、医療技術の体験や医療に関する情報の提供が行われました。イベントの目的は、地域の医療環境について理解を図り、医療分野の担い手づくりに貢献することです。

本学からは、食品栄養科学部栄養生命科学科の1年生から4年生までの27名と教員4名が、大人気の「食事バランス

チェック」コーナーをスタッフとして担当しました。来場者が選択した献立の食事バランスをゲーム形式で判定し、食塩の適正な摂取量や減塩の工夫などのアドバイスを伝えるとともに、管理栄養士の仕事の紹介も行いました。

食と健康に関する正しい情報を知る



料理カードを選ぶ様子

ことは、生活習慣病を未然に防ぐだけでなく、人生を豊かにします。今回のイベントでは人々の食環境を整え、地域住民の健康管理をサポートする管理栄養士の仕事を知ってもらう良い機会となりました。



食事バランスの判定とアドバイスを行う学生

■ ラグビーワールドカップ観戦外国人観光客向けアンケートの実施

経営情報学部の大久保あかね教授・八木健祥教授の研究室では、9月下旬から10月中旬にかけて、エコパスタジアムで開催されたラグビーワールドカップ2019大会4試合に来場した外国人観光客を対象に、観光動向および静岡県、静岡県民に対するアンケートを実施し、312名の方から回答を得ました。

静岡県を訪れるのは初めてという外国人が大半のなか、事前にインターネット等で静岡県の観光情報を入手してから来県していることや、静岡県訪問の動機は

「富士山」、「食」、「温泉」であることが確認できました。また、滞在中の課題として「Wi-Fiの利便性向上」や「公共交通機関や飲食店等における多言語表示の整備」を挙げる声が多く聞かれました。この間、静岡県に対する印象は「清潔」、「美観」、「親切」を挙げる声が多く、静岡県民に対しては「親切」との高い評価を得ました。今回得られた情報を参考に、静岡県の観光に関する踏み込んだ分析や今後の課題等について積極的に問題提起をしていきたいと考えています。



アンケート結果はこちらから



令和元年度 学位記授与式
(卒業式・修了式)
開催日 令和2年3月19日(木)

令和2年度 入学式
開催日 令和2年4月8日(水)

学位記授与式・入学式ともに、次のとおり開催いたします。

開 場 午前9時10分

着 席 午前9時40分

開 式 午前10時

会 場 グランシップ大ホール 海

静岡市駿河区東静岡2丁目3-1

(最寄駅 JR 東静岡駅 徒歩5分)

保護者席を用意しておりますので、ぜひご列席ください。

問い合わせ先 TEL054-264-5009(学生室)

■ 本学の英知で世界の宝、富士山を深く知る

日本で最も知られている山はと問われて富士山と答えない方はほとんどいないのではないのでしょうか。本学教職員だけでなく県庁職員の名刺にも富士山が描かれていることが多いです。静岡県民にとって心の故郷であり世界に誇れる財産といえる富士山ですが、県内では組織立って富士山の火山防災を含めた自然科学を研究したりすることは今までなく、在住研究者の個の力に頼っているという現状がありました。そのことを憂いた本学研究者がボトムアップ型のチームを形成し、2019年夏に富士山研究を開始しました。低消費電力長距離通信

の技術を活用して災害情報の通信システムを開発する湯瀬裕昭教授(経営情報学部)、地震学の最先端手法を導入し富士山内のマグマ活動を監視する技術を開発している楠城一嘉特任准教授(グローバル地域センター)、大気に浮遊する微生物が雲の種になるのではという意欲的な研究に取り組む村田浩太郎日本学術振興会特別研究員、NPO法人富士山測候所を活用する会事務局長として同会が支援する42テーマの研究を取りまとめ、自身も雷科学など複数の研究に取り組む鴨川仁特任准教授(同センター)の4人が富士山を科学的にあぶり

出しています。小さなグループとはいえども、全ての研究が世界トップクラスの研究であり、今後の成果で県民ましてや全世界の人々に貢献できるものと期待されます。



山頂でひと仕事を終えた3人
(左から村田研究員、湯瀬教授、鴨川特任准教授)

■ シンポジウム「米中対立と地政学リスク」の開催

グローバル地域センターは2019年12月16日にグランシップにて、米中問題の専門家を招いてシンポジウム「米中対立と地政学リスク」を開催し、県内外のビジネスマンや研究者、学生等240人が参加しました。鬼頭宏学長の開会あいさつに続き、4人の講師が制裁関税の応酬で激化する米中貿易戦争がもたらす日本や諸外国への影響について講演を行い、最後にパネルディスカッションが行われました。

基調講演では、NHK名古屋拠点放送局島田敏男局長より、日本の領海と排他的経済水域を示した東アジアの地図からみられる地政学的なリスクについて問題提起がされました。講演では、(株)双日総合研究所チーフエコノミストの吉崎達彦氏から、米中対立について、貿易戦争はいったん収束するだろうが新冷戦は続くとの展望が示され、(株)ニッセイ基礎研究所研究理事の伊藤さゆり氏から、EU内の所得格差が、イギリスのEU離脱問題など政治

不安を生み出す要因の一つであるとの見解が示されました。また、柯隆特任教授は、低成長の時代となる中国経済が抱える課題とサプライチェーンの再編成による展望について発表しました。



柯隆特任教授

パネルディスカッションでは、島田氏がコーディネーターを務め、中国が進める「一帯一路」構想の現状と、米国をはじめEU加盟国、アフリカ諸国の関わりについての議論が深まりました。また、会場からの多くの質問に対して講師が丁寧に

回答し、参加者からのアンケートでも「米国・中国・EUの経済の力関係がマクロ的に説明され、今後の考察の参考になった」などの意見が寄せられ、大変好評を得る結果となりました。

今後も、グローバル地域センターでは、中国「一帯一路」プロジェクトとグローバルサプライチェーン再形成に関する研究を進めてまいります。



会場の様子

■ 「大学スマホ・サイト ユーザビリティ調査2019-2020」で本学がトップ10入り

日経BPコンサルティングによる「大学スマホ・サイト ユーザビリティ調査2019-2020」で、本学のスマホ・サイトが、総合ランキング第8位(国公立大学中では第3位)を獲得し、昨年度の12位から順位を4つあげ、トップ10入りを果たしました。

この調査は、優れた大学サイト構築に向けた指針の提示を目的に国内の260大

学を対象として、サイトのユーザビリティ(使いやすさ)を、「通信への配慮」「見やすさ」「メインコンテンツへのアクセス」など8つの診断指標の下、合計48項目で審査したものです。

本学ではウェブコンテンツ制作のためのルールをマニュアル化し、常に見やすく、わかりやすいウェブページづくりを心掛けています。今後も、教育・研究、

学生・教員の活動、地域貢献活動等の情報を、わかりやすく発信できるよう努めてまいります。



【関連リンク】
日経BPコンサルティング
ニュースリリース
2019年10月25日

キャリア支援センターだより

最近の就職活動の状況は、多くの企業が、3月に広報活動開始、6月に選考活動開始、10月に正式な内定という約束(経済界と文部科学省の申し合わせ事項)を遵守せずに、早期に始める傾向が目立ってきています。

これは、企業が優秀な学生を確保したいということと、2018年9月に経団連の会長が2021年春入社以降の就活に対し「就活ルール」の撤廃をすると発表したことが一因と考えられます。

これまでも、外資系企業やベンチャー企業などで通年採用が行われていました。こうした活動に焦燥感を持っていた国内の企業は、3月以前にインターンシップに参加した大学3年生の学生を対象に、選考を開始しました。

こうした状況は、就職活動の早期化により、充実した学生生活が送れない可能性があるため、学生にとって好ましいものではありません。

しかし、早めにインターンシップ等に参加し企業風土を感じることで、働いてからのミスマッチを少なくすることが期待できると考えられます。

大学1、2年生のうちインターンシップに1回は、行ってみるといいでしょう。

企業を知る機会を企業側から提供していると、とらえてはどうでしょうか。

大学1、2年生の時期は、積極的に勉強や部活、旅行やボランティア、留学などやりたいことをして、自分が「何がしたいか」、「どうなりたいの

か」自分自身と向き合い、自己を見つけていってください。

就職活動も生き方を見つけるひとつのきっかけや、機会と考えてみてください。



広告

県大生
向け
情報

成人式衣裳 レンタル



お店で
着付・美容
写真が
できて便利

成人式衣裳は、
お電話にて
来店予約を
お願い致します

県大・
県短割 **男性袴 2,000 円割引!**
ふりそで 10,000 円割引!

※通常特典と併用可。他特別な特典と併用不可。

振袖ご予約者様は、通常特典で
次回衣裳レンタル 5,000 円割引! 付
「便利な卒業はかまにも利用できます。」

卒業はかま レンタル

来年ご卒業の皆様へ



詳しくは、ホームページ
をご覧ください!

長年、県大生向けの
便利なサービス
を行っております。

県内トップクラス
の品揃えです!

2020 年は、
6 月頃予約開始予定!



静岡着物レンタルの専門店

京都むらまつ

店舗：静岡市葵区馬場町 25-2 (静岡浅間通り商店街)

フリーダイヤル：0120-144081

代表電話：054-252-5293

営業：9 時 30 分～17 時 (水曜日定休日)



京都むらまつ

検索



国際関係学部 高畑ゼミ

高畑 幸 教授

—先生が現在取り組まれている研究を行おうと思われたきっかけは何ですか。

私の研究テーマは「国境を超える人の移動」です。高校時代、地元の秋田で働いていたフィリピン人の女性に英語を教わったことが、今に続く研究の原点でした。ちょうど1986年のフィリピン2月革命があった頃で、国内経済

が停滞していたフィリピンから海外出稼ぎ者が相次ぎ、私に英語を教えてくれた女性も、そのように祖国を後にした一人でした。その後、私は大学では英語学科に進学したのですが、フィリピン語も学び始め、大学院はフィリピン語を専攻してフィリピン国立大学大学院に留学しました。帰国後は司法通訳者として、警察や裁判所などで働きました。その中で、彼らが抱えている

様々な社会問題に直面したのです。1990年代はフィリピンだけでなくアジアや南米から日本への移住者が急増した時代です。日本人とのトラブルや労働問題など、在日外国人をめぐる深刻な問題と向き合おうと思い、博士課程では社会学の道へ進み、在日コリアンの生活史調査や、フィリピン人が多い名古屋の繁華街での町内会調査などを行いました。

—先生の研究が、これからの地域に果たす役割についてお聞かせください。

「地域社会の多文化共生」を円滑に進めるお手伝いができると思います。静岡県には9万人余の外国人が暮らしています。この数は御殿場市や袋井市の人口よりも多く、外国人数では全国で8位です。また、公立小中学校に在籍し日本語指導を必要とする子どもの数では全国4位と、子どもからお年寄りまで生活者としての外国人の課題があ



ります。これからも日本は「日本人が減って外国人が増える」状態が続き、子どもと若者の多国籍化・多文化化がさらに進むと思います。従来の法律や教育、行政、地域組織等の社会制度も少しずつ変わる必要が出てくるでしょう。地域社会の多文化共生は、在日コリアンが日本に定住した100年以上前からある課題です。私が大阪や名古屋で取り組んできた研究から得られた多文化共生へのヒントが、今の静岡県各地の地域で生かせると思っています。

一研究をしているなかで、学生と共に喜び合える時はどのような時ですか。

在学中だけでなく、卒業後も職場や地域、教育の場で外国人と関わっている人がいるのを知ると嬉しいです。多様な背景を持つ人とともに学び、働き、暮らし、協力するという多文化共生の志向はひとつのライフスタイルだと思います。学生のうちに知識と体験でそれを吸収し、卒業後はひとりの市



民としてそれを実践し、周りの人たちに伝えていってくれたら私は幸せです。

STUDENT VOICE



国際関係学部
国際関係学科3年
木村 心さん

一ご自身から見て感じる、高畑ゼミの魅力や、他のゼミにはない特徴についてお聞かせください。

他のゼミにはない高畑ゼミの魅力は、

フィールドワークが多いことだと思います。私たちが研究のテーマとしている在日外国人の分野では今、その地域の問題点を知ることが重要です。そのため実際に現場を見て、座学だけではわからないリアルな現状を知り、自分自身の考えを構築します。

一ご自身が行われている研究活動についてお聞かせください。

フィールドワークでは、焼津市の市民団体が行う「しゅくだいひろば」という外国ルーツの子供たちが利用可能なイベントに参加しながら、外国ルーツの方たちに起こる問題について把握しています。また、外

国ルーツの方が防災意識を高められるよう外国語版の避難所運営ゲーム（HUG）の作成と普及活動を行っています。

一将来の目標・希望進路についてお聞かせください。

希望進路についてまだ明確に定まっていませんが、国際関係学部で学んだ経験を生かし海外との繋がりのある仕事をしたいと考え、商社などのインターンシップに参加しています。



国際関係学部
国際関係学科3年
齋藤 夏葵さん

一ご自身から見て感じる、高畑ゼミの魅力や、他のゼミにはない特徴についてお聞かせください。

高畑ゼミの魅力は活動の基本がフィールドワークであることです。教室の外へ出て、人と人との交流の中から学びを得ることができます。行動力と時間がある今のうちにたくさんの人と出会い、誰にとっても住みやすい社会とは何なのかを考え、意見の共有ができることはこのゼミの魅力の一つだと思います。

一ご自身が行われている研究活動についてお聞かせください。

今は、静岡市と協力しながら駿河共生地区（静岡市地域福祉共生センター「みなくる」周辺地区）PRのために多文化拠点のマップ作りのための取材をしています。今よりもっと外国人と日本人が交流する機会が増えるように、必要としている人たちに情報を届けられるよう、形として残そうとしています。

一将来の目標・希望進路についてお聞かせください。

将来は公務員となることを目指しています。人々の生活の基礎を支える職に就き、人を思いやり、常に誰かの心に寄り添いながら生きることができたらと思っています。老若男女、国籍や宗教を問わず、誰にとっても住みやすい社会を理想としています。



たかはた さち
高畑 幸 教授

1969年、大阪生まれ、秋田育ち。大阪外国語大学（現・大阪大学）外国語学部を卒業後、同大学院修了。大阪市立大学大学院にて文学博士を取得。大阪外国語大学 非常勤講師、日本学術振興会 特別研究員（PD）、広島国際学院大学 准教授を経て、2011年に国際関係学部 准教授として本学へ奉職し、2018年教授に就任。専門は社会学、在日外国人問題（特にフィリピン人）。法廷通訳者としても26年にわたり活動している。

高畑ゼミ 学生 18名

<https://researchmap.jp/read0138628>

活躍する卒業生

The graduate who plays an active part



お名前 森田 優子さん
卒業学部 看護学部看護学科 (2004年 3月卒業)
勤務先 認定特定非営利活動法人 シャイン・オン・キッズ

Q1. 現在の仕事について教えてください。

「ファシリティドッグ」という病院の医療スタッフの一員として常勤勤務する犬のハンドラーをしています。看護師としての経験を活かしながら、入院中の子ども達やご家族のケアを行うことができます。

ファシリティドッグがいれば、手術室にも笑顔で歩いて行けたり、歩行訓練も知らず知らずのうちに普段より長距離を歩けたりと、子ども達の「自ら頑張ろう」と思える力を引き出すことができる、やりがいのある仕事です。

Q2. 大学生活（ゼミやサークル）で印象に残っていること、今の仕事に影響を与えたことを教えてください。

1年次から学部運動会の実行委員を務め、4年次には実行委員長を務めました。皆で大玉転がしの玉を竹から作ったり、鉛探して顔を真っ白にしたりと、他学年の先輩後輩とはしゃぎ、童心に返る楽しい運動会でした。

決して組織の代表となるような性格では無かった私ですが、経験の積み重ねが実行委員長を務めるまでの自信へとつながりました。それが日本初のファシリティドッグハンドラーとして、道を開拓していく力となりました。

の立場は絶対でありませんでした。

Q4. 今後の目標について教えてください。

海外では数多くいるファシリティドッグですが、日本ではまだ3か所の病院にしかいません。ファシリティドッグのハンドラーになりたいから看護師を目指したという学生さんもあるなど、自分が始めた仕事を夢に持つ若者が出てきたことを、心から嬉しく思います。

そのような方たちのためにも、そして日本の病院の入院環境をさらに良くするためにも、多くのファシリティドッグが活躍できる日本にしていきたいです。

Q3. 静岡県立大学に入学してよかったことを教えてください。

この仕事は小児科での看護師経験が必要となりますが、看護師としての就職先に子ども病院を選んだのは、学生時代の実習で、小児看護の魅力を感じたからです。実習中、少しの工夫で、そして自分の関わり次第で子ども達の反応が変わることに気がきました。

今のハンドラーという仕事に誘ってくださったのは、当時看護学部助手であった熊坂先生です。静岡県立大学無くしては、今

Q5. 在学生にメッセージをお願いします

学生時代にしかできない経験を目一杯楽しんでください。そして、人との出会いを大事にしてください。何が、将来の自分の方向性を変えるか分かりません。私も大学を卒業する時には、まさか日本初の仕事をしたり、学生に向けて講演する立場になるとは夢にも思いませんでした。将来は、過去からの繋がりで成り立っていると思います。今を大事に、すべての経験を大事に。皆さんの将来の活躍を楽しみにしています！



お名前 堀井 聡子さん
卒業学部 看護学研究科 (2008年 3月修了)
勤務先 JICA ベトナム新人看護師のための臨床研修制度強化プロジェクト チーフアドバイザー(JICA専門家)

Q1. 現在の仕事について教えてください。

ベトナムでは、看護師国家試験がない代わりに、看護系教育機関（大学、短大、専門学校）の卒業後、9か月間の臨床研修を実施することが看護師免許取得の要件となっています。JICA（国際協力機構）はこうした状況に対し、2016年から臨床研修制度の整備を目的としたプロジェクトを実施しており、私は同プロジェクトに専門家として派遣され、保健省が行う制度づくりや、臨床研修を行う病院や省（日本の都道府県

に相当）病院の支援を行っています。

病院や省の関係者から、プロジェクトを通じて病院や自身が変わったことや、プロジェクトの支援によって自律的に活動を運営・発展できているといった声をいただくとき、自分もこのプロジェクトにかかわってよかったと感じます。

Q2. 大学生活（ゼミやサークル）で印象に残っていること、今の仕事に影響を与えたことを教えてください。

世界最貧国のひとつ、ニジェール共和国（西アフリカ）において、修士論文作成に向けた調査のために3か月間のフィールドワークを実施することができたこと。医療人類学を基盤とした研究であったため、ニジェールの一農村で村びとと同じように生活をしながら調査を実施しました。調査を通じて、厳しい環境の中におかれながらも、たくましくしたたかに生きる農村部の女性たちから多くを学び、その経験は、仕事だけでなく、私の生き方に影響を与えています。

学問をその分野の一流の先生方の指導を受けて学修することができたこと。特に、人類学やジェンダー論など、それまで体系的に学んだことがなかった分野の学修ができたことで、看護学、そして看護の対象である、人や地域を深く理解することができるようになりました。また、それらの分野の関連図書が大学（隣接する県立図書館も含め）に豊富にそろっていたこともありがたかったです。

Q4. 今後の目標について教えてください。

国外・国内に関係なく、いまそこにある地域の健康課題の解決に向けて、実践、研究、教育を通じて貢献できるよう、研鑽し続けていきたいと考えています。

Q5. 在学生にメッセージをお願いします。

県立大を修了してすでに10年以上経過していますが、いまま大学院時代のネットワークに助けられることが多くあります。在学中は、学部を超えて、大学を超えて、学生時代にしかつながれない様々な方々とつながりあって、将来につながるネットワークを築いていただければと思います。

Q3. 静岡県立大学に入学してよかったことを教えてください。

看護学の専門科目だけでなく、他分野の



産学民官連携

本学が取り組む地域貢献、産学民官連携活動による研究成果やイベント等の情報をご紹介します。

もう
食べた？

県大コラボスイーツ

むかご羊羹



上品な甘さが緑茶と相性抜群。
可愛いパッケージはお土産にぴったりです。

丁子屋焼き



自然薯を使用した生地はしっとりモチモチした食感。
深いグリーンの特製餡にはむかごを100%使用しています。

「ジオスゲニン」に注目

とろろ汁に使用される自然薯。その葉の付け根にできる球芽は「むかご」と呼ばれ、土の中で発芽し、種芋となります。そのむかごを有効活用するために【自然薯むかご羊羹プロジェクト】を発足しました。



▲自然薯の蔓になる「むかご」

このプロジェクトは、静岡市駿河区丸子でとろろ汁屋を営む「元祖丁子屋」が企画し、本学食品栄養科学部 三好規之准教授が、むかごに含まれる有効成分「ジオスゲニン」の分析を行い、ジオスゲニンを食品成分として摂取した場合、大腸がん予防作用等を示すことが動物実験で確認されました。



原材料の供給をなかじま自然薯園（自然薯専門農家）、羊羹の製造を望月茶飴本舗（老舗和菓子店）が担い、静岡を拠点とする各分野のエキスパートたちの協力によって産学連携が実現しました。

※静岡市産学交流センター「平成30年度地域課題に係る産学共同研究委託事業」採択

「大コン事業」から誕生

※「大学生によるお店コンサルティング事業」の通称。
魅力的で個性のある個店を増やすため、本学経営情報学部の岩崎ゼミと静岡市が連携して、マーケティングを専攻する大学生が個店に対してアドバイスやコンサルティングを行う事業です。静岡市と連携した「大コン」は、今年度で8年目を迎えます。ゼミ生にとっては、日頃のマーケティング研究の成果を、現実の経営に適



用する貴重な機会になっています。今年度の大コン受診企業は4企業。そのうちの一つである丁子屋との合同企画によって新たなスイーツが誕生しました。



▼こちらでご購入いただけます ※2019年12月現在の情報です



静岡市駿河区丸子7丁目10-10
TEL: 054-258-1066

これっしか処

静岡県掛川市南1-1-1
(掛川駅構内南口)
TEL: 0537-22-1616



静岡県立大学内 売店

(株)静岡県立大学販売協会
静岡市駿河区谷田52番1号
(草薙キャンパス学生ホール2階)
TEL: 054-262-7705

はばたき寄金からのお知らせ

「第5回創造力コンテスト」、「第23回文芸コンクール」の開催

創祭2日目の10月27日に、はばたき寄金主催の「第5回創造力コンテスト」の審査と「第23回文芸コンクール」の表彰式を行いました。

創造力コンテストには3組のエントリーがあり、当日発表が行われました。

文芸コンクールには、短歌35首、俳句50句、川柳30句、イラスト6点、写真19点、エッセイ・小説6編の応募がありました。

それぞれ審査の結果、次のとおりとなりました。



受賞者



創造力コンテストの発表

第5回創造力コンテスト受賞結果

部門	受賞	名前	所属	作品名
創造力コンテスト	最優秀賞	飯塚 泰	経営情報イノベーション研究科	夏および冬季の長期休暇期間に実施する、被災生活型キャンプの提案
	優秀賞	鈴木 杏佳	国際関係学部	暮らしのリテラシーの構築に向けて
	佳作	平松 希望 南野 優季	薬食生命科学総合学府	環境やエコ問題への対策について大学ができることの提案

第23回文芸コンクール受賞結果

部門	受賞	名前	所属	作品名
短歌	優秀賞	佐野 茜	国際関係学部	自然
	佳作	佐藤 真維	食品栄養科学部	休日
	佳作	山本 奈央	国際関係学部	家康の好物
	努力賞	露木 典子	事務局	時代
俳句	最優秀賞	吉田 達哉	事務局	休暇明け
	最優秀賞	露木 典子	事務局	鯉のぼり
	優秀賞	丹羽 康夫	食品栄養科学部	秋の風景
	優秀賞	飯塚 泰 富岡 聖	経営情報イノベーション研究科	ちんぐるま
	佳作	山本 奈央	国際関係学部	家族会議
	佳作	石原 祥子	事務局	私の秋
	努力賞	露木 典子	事務局	仲直り
川柳	優秀賞	山本 奈央	国際関係学部	キャッシュレス
	佳作	飯塚 泰	経営情報イノベーション研究科	秋の日常的一幕
	佳作	佐藤 真維	食品栄養科学部	無駄な時間
	佳作	萩 佳斗	食品栄養科学部	軽い決意
イラスト	努力賞	中川 篤毅	薬学部	月明り
	努力賞	水野 春花	薬食生命科学総合学府	フォーカス
	努力賞	松田 彩花	国際関係学部	LOVE
写真	佳作	長谷川 南	国際関係学部	安堵の収穫
	佳作	石原 恭輔	食品栄養科学部	道
	努力賞	横葉 美菜	国際関係学部	自然界
	努力賞	井田 涼太	薬学部	岩と鱗
	努力賞	玉舟 亮太	薬食生命科学総合学府	調和
	努力賞	山中 夏鈴	国際関係学部	永遠少女
	努力賞	松澤 明希	薬学部	秋、訪る
	努力賞	宮国 大介	薬学部	白衣の躍動
エッセイ・小説	優秀賞	石原 恭輔	食品栄養科学部	診療所
	優秀賞	飯塚 泰	経営情報イノベーション研究科	穂坂公彦の日記
	佳作	山口 舞葉	国際関係学部	みずわき公園
	佳作	鈴木 詩織	薬食生命科学総合学府	舞台

皆様からの寄金へのご協力、御礼申し上げます。(敬称略、寄附の順)

(平成31年1月～令和元年12月分) 落合康裕、松浦博、湯瀬裕昭、小針進、小林公子、創星会、寺尾康

大学資料コーナーには、本学の研究業績目録や研究成果報告書、大学新聞等の出版物、本学教員の著作物等を特別に収集しており、どなたでも自由に閲覧できるようにしています。

著作は全て、蔵書詳細検索(OPAC)で、著者名及び所在(大学資料コーナー)を入力すると検索できますので、ぜひ、手に取ってご覧ください。

- ・『2038年南海トラフの巨大地震』尾池 和夫／著
- ・『生命科学の未来：がん免疫治療と獲得免疫』本庶 佑／著
- ・『上智大学の学生たちの熱い関心を集めた愛と希望の「人口学講義」』鬼頭 宏／著
- ・『健康と長寿への挑戦：食品栄養科学からのアプローチ』木苗 直秀／著
など



私の一冊の本

紹介者 食品栄養科学部 准教授 伊藤創平

紹介図書 『パーソナリティ障害 いかに関し、どう克服するか』



著者：岡田 尊司

出版社：PHP研究所

出版年：2004年

ISBN：978-4569635255

請求記号：493.76//038

みなさんは、自分のパーソナリティ(人格・個性)によって生きづらさを感じたり、身近な人との接し方で困っていたりしていないでしょうか。自分でそう感じていなくても、身近な人を困らせていることもあるかもしれません。現代人の多くが抱えているパーソナリティ障害とは、偏った考え方や行動パターンのために、家庭や社会生活に支障をきたしている状態のことです。障害といっても珍しいことではありません。愛に依存する、孤独を恐れる、称賛が欲しい、義務感が強い、傷つくことを恐れるなど、多かれ少なかれ

誰もが持ちうる個性が、強すぎるまま大人になった場合に問題となります。また、仮想の物語の主人公を演じ平気で嘘をつく、善悪の区別がつかない、精神的な世界で生きているなどの理解し難い個性もあります。本書では、10種の型(個性)について、特徴と背景、接し方のコツ、克服のポイントを、精神医学的な観点から解説しています。筆者の岡田先生は、精神科医として医療少年院に勤務され、長年患者と向き合ってこられました。自らの経験と専門的な知識、人に対する深い愛と理解を感じる言葉がちりばめられている本でもあります。

そもそも個性とは何でしょうか?地球に住む2,000万種の生物は、多様な個性を持っています。また、種が同じで見た目では区別できなくても、行動パターン・個性の違いがあります。昆虫ですら個性の違いが報告されています。人間ならなおさら、見た目や身体能力以上に、内面的な個性は多様です。内面的な個性の一つの表現型として、近年認知と理解が進んできたLGBTがあります。同性を好きになる、どちらの性も好きになる、複数の愛があるなど、性の個性は多様であり、個人の尊厳に関わる大切な問題です。しかし、すべての個性がグラデーションであり多様であること、個性の良し悪しの判断が主観

に陥りやすいことはあまり認識されていません。実は、現代社会に蔓延する多くの問題・生きづらさは、パーソナリティ障害を理解することで本質が見えてきます。生物は、生存競争という単純な法則で生きてきました。しかし、人は先人たちが構築してきた社会のシステムの中で生きる必要があります。規律にそぐわない偏った個性は障害とみなされてしまいます。一方で、強烈な個性の人しか持ちえない特性や才能が世界を魅了し続けてきたことにも本書では気づかされます。パーソナリティ障害は、苦しさや困難を引き起こしますが、同時に大きな力を生み出す可能性も秘めています。克服した時に真価を発揮するのは、身体的な障害と同様です。

岡田先生の言葉を借りると、かつての学びとは、知識よりもまず心のあり方を学び、人としての道を修める鍛錬を重ねることでした。しかし現代の学びにおいて、勉強や研究と、人格の鍛錬は分離してしまっています。人格を陶冶し自分にふさわしい生き方に出会える前に、氾濫する情報に飲み込まれ、パーソナリティに障害を抱えたままの大人が増えているのでしょうか。また、生きづらさを感じていなくても、人間を客観的に理解し対人関係を良好に保つ一助となる良書です。

奨学金授与式が行われました

本学では、有意義な学生生活を支援していくために、地元企業等の奨学団体の協力による各種奨学金制度を設けています。
今年度は、地域の地元企業 14 社から計 44 名の学生が奨学金をいただきました。
平成 31 年 3 月から令和元年 9 月までの間に奨学金授与式が執り行われました。

「しずぎんアジア留学生奨学金」授与式 3月19日

- 国際関係学部 2年 劉 星
- 国際関係学部 2年 AKHMAD SYARIFUDDIN
- 国際関係学部 3年 ADRIANSYAH KEVIN MANDALA
- 国際関係学部 3年 ANJUN SOFIEYA BINTI SAHDAN
- 経営情報イノベーション研究科 修士1年 謝 燁超



「東海澱粉国際交流奨学基金」授与式 7月24日

- 国際関係学研究所 修士1年 ティ ムヨウ
- 国際関係学研究所 修士1年 NICO DANIEL
- 薬食生命科学総合学府 修士2年 李 蘇捷



「万城食品奨学金」授与式 5月31日

- 食品栄養科学部 2年 小粥 葵



「天野回漕店奨学金」授与式 7月31日

- 経営情報学部 2年 陶 鴻雁
- 国際関係学部 3年 DOAN THUY LINH



「TOKAIグループ奨学金」授与式 6月17日

- 国際関係学部 2年 NGUYEN THI ANH DAO
- 薬食生命科学総合学府 修士1年 新田目 かおり
- 薬食生命科学総合学府 修士2年 鈴木 美佑
- 国際関係学研究所 修士2年 朴 松淑
- 薬食生命科学総合学府 博士2年 榛葉 有希



「村上奨学財団奨学金」授与式 9月13日

- 食品栄養科学部 2年 吉水 志織
- 国際関係学部 2年 森澤 有由里
- 国際関係学部 2年 飯野 翔琉
- 国際関係学部 2年 近藤 七麻
- 経営情報学部 2年 名久井 南奈



「静清信用金庫奨学金」授与式 6月25日

- 経営情報学部 1年 松山 和揮
- 経営情報学部 3年 村松 彩月



「エンケイ財団奨学金」授与式 9月20日

- 国際関係学部 1年 JOCELYN KNEOH WAN TING
- 国際関係学部 3年 椛本 佳織
- 国際関係学部 4年 倉田 笑莉
- 国際関係学研究所 修士1年 NICO DANIEL
- 薬食生命科学総合学府 修士2年 石山 詩織
- 薬食生命科学総合学府 修士2年 八木 周和



「静岡ガス奨学金」認定証授与式 7月3日

- 薬学部 2年 岩清水 苑夏
- 薬食生命科学総合学府 修士2年 西尾 隆佑



「自然の恵み財団奨学金」授与式 9月27日

- 食品栄養科学部 1年 小高 清楓
- 食品栄養科学部 2年 村井 尚子



「ロッキー奨学金」授与式 7月23日

- 看護学部 2年 加藤 舞花
- 薬学部 4年 菊間 史也
- 薬食生命科学総合学府 修士2年 杉本 光輝



「スルガ奨学財団奨学金」

- 看護学部 2年 帯金 愛麗
- 国際関係学部 2年 小川 玲奈
- 国際関係学部 3年 MITA SAFITRI
- 薬学部 4年 佐野 歩
- 国際関係学部 4年 陳 曉晶

「ビヨンズ国際育英財団奨学金」

- 国際関係学部 1年 VO HOANG PHAT
- 国際関係学部 4年 陳 曉晶

「Sun&Sun総合保険奨学金」

- 国際関係学部 1年 山口 舞葉

地元企業等による本学学生への奨学金

奨学金名称	給付金額	支給期間	応募資格	令和元年度採用人数
しずぎんアジア留学生奨学金	月額10万円	2年間	アジア地域からの国籍を有する留学生	留学生5人
万城食品奨学金	月額5万円	1年間	学部1年生又は2年生の日本国籍もしくは永住権を有する学生	1人
TOKAIグループ奨学金	月額5万円	1年間	全学生（研究生、科目等履修生含む）	日本人3人、留学生2人
静清信用金庫奨学金	月額5万円	1年間	静岡県内出身の学部生	2人
静岡ガス奨学金	月額5万円	1年間	学部生・大学院生	2人
ロッキー奨学金	年額20万円	一時金	静岡県内に在住もしくは勤務する勤労者の子弟で2年生以上の者	3人
東海澱粉国際交流奨学基金	月額3万円	1年間	アジアからの留学生のうち修士または博士前期課程の大学院生	留学生3人
天野回漕店奨学金	月額5万円	1年間	中国・東南アジアからの留学生のうち学部2～3年生	留学生2人
村上奨学財団奨学金	月額3万円	1年間	学部2年生の者	5人
エンケイ財団奨学金	月額2万円	1年間	学部生・大学院生・アセアン諸国からの留学生	日本人4人、留学生2人
自然の恵み財団奨学金	月額3万円	2年間	食品栄養科学部の1年生	2人
スルガ奨学財団奨学金	月額5万円	2年間	留学生のうち学部2年生	日本人3人、留学生2人
ビヨンズ国際育英財団奨学金	月額1万円	1～4年間	留学生のうち学部1～3年生	留学生2人
Sun&Sun総合保険奨学金	月額3万円	1年間	学部1年生の日本人学生	1人

教員・学生の受賞

各受賞の詳細については本学公式サイトでのニュース&トピックスからご覧いただけます。

	受賞者名	所属	受賞名
教員	王 齊 特任助教	食品栄養科学部	第28回環境化学討論会 優秀発表賞
	玉野 春南 特任講師	薬学部	第30回日本微量元素学会学術集会 研究学術賞（浜理薬品賞）
	徳村 雅弘 助教	食品栄養科学部	公益社団法人環境科学会 奨励賞
	尾上 誠良 教授	薬学部	2019年度日本動物実験代替法学会 学会賞
	王 齊 特任助教	食品栄養科学部	2019年室内環境学会学術大会 優秀ポスター賞
学生	村松 孝亮	薬食生命科学総合学府	第28回環境化学討論会 優秀発表賞
	大石 純菜・船水 純那	食品栄養科学部	
	奥岡 佳純	薬食生命科学総合学府	2019年生工学会年次大会 優秀発表賞
	荒川 菜都美	経営情報学部	観光情報学会第16回全国大会 大会奨励賞
	三上 靖代	薬食生命科学総合学府	第34回老化促進モデルマウス（SAM）学会学術大会 若手研究奨励賞
	土屋 さくら	薬食生命科学総合学府	日本食品科学工学会第66回大会 優秀賞
	山本 深月	薬食生命科学総合学府	日本食品科学工学会第66回大会 企業賞
	伊藤 流星	薬学部	フォーラム2019：衛生薬学・環境トキシコロジー 2019年度日本薬学会環境・衛生部会新人賞
	西尾 隆佑	薬食生命科学総合学府	フォーラム2019：衛生薬学・環境トキシコロジー 実行委員長賞
	佐伯 奈々	薬学部	13th conference of the International Society for Trace Element Research in Human Student Travel Award
	高杉 昇平	薬食生命科学総合学府	Liposome Research Days (LRD) 2019 Travel Grant
	佐伯 椋子	薬食生命科学総合学府	Liposome Research Days (LRD) 2019 The Best Poster Award
	宮崎 淳平	薬食生命科学総合学府	環境科学会2019年会 最優秀発表賞
	増田 美里	薬食生命科学総合学府	
	船水 純那	食品栄養科学部	環境科学会2019年会 優秀発表賞
	堀池 隼雄	薬食生命科学総合学府	日本食品衛生学会第115回学術講演会 優秀発表賞
	榛葉 有希・三上 靖代 加藤 麻衣	薬食生命科学総合学府	第8回食品薬学シンポジウム 優秀発表賞
	佐伯 奈々	薬学部	メタルバイオサイエンス2019 RSC Metallomics Award (学生ポスター賞)
	所 春奈・待寺 りさ子	薬学部	メタルバイオサイエンス2019 実行委員長賞
	柿宇土 勇太・三田 大智 久保 瑠宇菜・山本 萌生	経営情報学部	第5回 知財活用アイデアプレゼン大会 静岡大会 最優秀賞 知財活用スチューデントアワード優秀賞
	加藤 麻衣	薬食生命科学総合学府	第7回国際フードファクター学会 優秀発表賞 (YIA)
	佐藤 茅乃	食品栄養科学部	2019年度日本食品科学工学会中部支部大会 優秀賞
	新堂 真生・清 健人	薬食生命科学総合学府	
大石 真菜	食品栄養科学部	2019年室内環境学会学術大会 優秀ポスター賞	

※2019年7月から12月までに本学の公式ホームページに掲載依頼のあった受賞を掲載しています。
※役職は受賞時のものです。

教員人事

◆採用

●専任教員	2019年8月1日付
池田 麻左子	看護学部看護学科 助教
●専任教員	2019年10月1日付
岸本 真治	薬学部薬学科 助教
照喜 名孝之	薬学部薬学科 助教

◆昇任

飯野 勝己	国際関係学部国際関係学科 教授
森 直香	国際関係学部国際言語文化学科 准教授

◆退職

●専任教員	2019年6月30日
木村 晋一郎	薬学部薬学科 助教
●専任教員	2019年8月31日
岩尾 康範	薬学部薬学科 准教授
●専任教員	2019年10月31日
高橋 啓介	看護学部看護学科 助教
●専任教員	2019年12月31日
橋 詰 力	食品栄養科学部栄養生命科学科 助教
●専任教員	2020年1月13日
佐々木 崇光	薬学部薬学科 講師
●専任教員	2020年1月31日
木元 千奈美	看護学部看護学科 助教

教員活動評価における業績優秀者への学長表彰

静岡県立大学では、教員の教育研究活動等の一層の向上を図ることを目的として、教員活動評価を実施しています。12月20日に、2018年度(平成30年度)の教員活動評価における業績優秀者12人に対して、学長表彰を行いました。

学部等	職位	氏名
薬学部 薬学研究院	教授	尾上 誠良
	准教授	内田 信也
	講師	佐藤 秀行
食品栄養科学部 食品栄養環境科学研究院	講師	平井 啓太
	教授	合田 敏尚
	教授	雨谷 敬史
国際関係学部 国際関係学研究所	助教	徳村 雅弘
	教授	石川 准
	教授	細川 光洋
経営情報学部 経営情報イノベーション研究科	講師	鈴木 さやか
	教授	東野 定律
看護学部 看護学研究所	講師	糸川 紅子

静岡県立大学おおぞら基金に寄附して下さった皆様（平成31年1月～令和元年12月）

(株)県大文化通信 静岡県立大学販売協会 大村幸代 佐藤知久 皆藤賢司 山口正喜 福地重範 平野竜史 勝俣一晃 伊藤泰弘 坂井真人 佐藤展久 田中将之 隈岐正博 眞鍋史乃 嵯峨野(株) 河野康行 西尾洋美 山中啓子 前野竜太郎 薬学部後援会 経営情報学部後援会 国際関係学部後援会 食品栄養科学部後援会 看護学部後援会 短期大学部後援会 中村直美 市川美恵子 神村征世 石塚康義 井原厚子 朝倉淑子 小林みどり 福田仁 岡部宏紀 鈴木康久 遠藤誠 石津忠慶 狩野賢一 砂川善弘 藤原良治 川岸拓史 嶋田真壽美 能登久美子 山本正幸 匿名希望12名(敬称略、寄附の順)

はばたき

次号141号は2020年7月発行の予定です。

140号 2020年2月17日発行
発行元 / 静岡県立大学広報委員会

- 静岡県立大学 広報・企画室
- 〒422-8526 静岡県静岡市駿河区谷田52-1
- TEL / 054-264-5130 ■FAX / 054-264-5099
- E-mail / koho@u-shizuoka-ken.ac.jp
- URL / https://www.u-shizuoka-ken.ac.jp/



ご意見・情報をお寄せください。

記事に関するご意見・ご感想、今後取り上げてほしいテーマなど、ご要望をお待ちしています。また、本学の学生、教職員の教育・研究活動のほか、ご卒業生などに関連する情報もお寄せください。今後の企画の参考にさせていただきます。

広告

「はばたき」読者限定!

県大生応援キャンペーン!!

〈お申込時にこの冊子をご持参下さい〉

**2020年4月末までにご入校の方に
TDLパスポートが
ペアでもらえる!**

※普通自動車で入校の方が対象です
※限定解除の方は対象外とさせていただきます
※本冊子掲載後にご入校された方が対象



**古庄は
特典がいっぱい**

優先予約で短期取得可

再検定料一切不要

技能オーバー無制限保証

夜間料金無料

免許は取ったけどしばらく
乗ってないから運転が不安で…

**卒業生特典
ペーパードライバー講習
1時間無料**

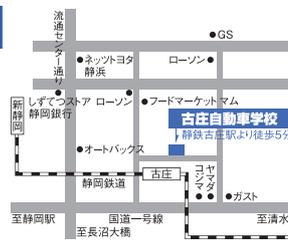
※普通車のみ：2・3・8月を除く

お申込みは
フリーダイヤル **0120-155-168** | 携帯からもOK
※チラシを見たとお伝えください。

公認 古庄自動車学校

〒420-0812 静岡県静岡市葵区古庄3丁目11番15号
TEL.054-261-1551
FAX.054-264-0940
URL <https://www.flushyou.co.jp>
Mail main@flushyou.co.jp





静岡県で働きたいあなたを応援

静岡県で 就職しよう!



シズオカの就職応援サイト

SJCナビ

会員登録



就活に役立つ情報を
LINEでお届け!



LINEで
友だちになろう!



SJC (株)就職情報センター 〒422-8051 静岡県静岡市駿河区中野新田57-43 TEL054-281-5566 E-mail info@sjcnavi.com